瘢痕・ケロイド治療研究会

「瘢痕・ケロイド治療ジャーナル」投稿規定

論文種別

瘢痕・ケロイド治療の進歩に寄与する雑誌として，以下の論文を掲載する。

1．研究会発表プロシーディング

2．原著論文：基礎研究，臨床研究ともに独創性に富み，目的と結論が明確な論文

3．総説：臨床・基礎研究の背景・重要性が述べられた論文

4．短報・レター：まだエビデンスはないものの，読者に伝えるべき重要な報告

なお，論文はすべて未発表のもので，かつ他の著作権を侵害しないものに限り，本誌掲載後は他誌への転載は編集委員会の許諾を得た場合のみとする。

また，他論文より引用・転載する場合は，著者の責任において出版権者の許諾を得て，編集委員会に許諾書を提出し，論文に出典を明示すること。研究会プロシーディングおよび短報・レターは編集委員1名，原著論文および総説は編集委員2名以上により査読される。

投稿資格

筆頭著者は瘢痕・ケロイド治療研究会会員に限る。ただし編集委員会が認めた場合はこの限りではない。

発刊時期

瘢痕・ケロイド治療ジャーナル(Scar Management)は，当面の間，年1回発刊する。

投稿方法

論文の投稿は，編集室へメールでの投稿にて行う。

アドレス：jsw-edit@zenniti.com

送信にあたり総量が10MBを超える場合は，大容量ファイル送信サービスなどを行う商業メールを使用すること。

論文形式

投稿原稿は，MS-WORD形式の単一ファイルで作成する。なお，査読にて指摘箇所がわかるように，通し番号(WORD内のページレイアウトにて)を付けること。

投稿原稿は，1つのMS-WORDファイルに，**① 表紙**，**② 英文要旨**，**③ 本文**，**④ 利益相反関係の開示**，**⑤ 参考文献**，**⑥ 図表の説明文**，**⑦ 図表(写真も含む)**の順に記載する。

① 表紙：論文タイトル(和・英文併記)，所属先(著者全員分で和・英文併記)，著者名(著者全員分で和・英文併記)，連絡先(氏名，住所，電話番号，メールアドレス)を入れる。

② 英文要旨：200 words以内とする。なお必ず英語を母国語とする者の校閲を受けること。

③ 本文：言語は和文とし，常用漢字，現代かなづかいを用い，「である調」とする。学術用語は「医学用語辞典(日本医学会編)」，「形成外科学用語集(日本形成外科学会編)」に従うものとする。見出しをつけ構成をわかりやすくすること。

略語は初出のみ「フルスペル(以下，○○)」とする。

固有の医薬品・機器は初出のみ「一般名(商品名：製造販売者名)」とし，以下は一般名を用いる。

数量を表す単位はcm，ml，gなどを使用する。

Presented by Medical*Online

文中の欧文は固有名詞以外の頭文字は小文字とする。

数字はアラビア数字(1，2，…)を使い，人名はできるだけ原語で記載する。

④ **利益相反関係の開示**：投稿時から遡って過去1年以内における利益相反(COI)について申告する。利益相反関係については論文の末尾に，謝辞または文献の前に記載する。COI状態がない場合は，「申告すべきCOI状態はない。」などの文言を記載する。

⑤ **参考文献**：重要なもののみにとどめ10文献以内とし，本文中出現順に1)から番号を付ける。

文献記載の著者名は2名までとし，以下3名以上は「ほか」「et al」とする。

雑誌名は引用した雑誌に明記されている略名を使用すること。

書式は以下の通りとする。

【雑誌】著者名．題名．誌名 巻数：ページ(始頁-終頁)；発行年(西暦)．

(例) 川那部岳志，脇田進一，ほか．口唇血管腫・血管奇形の治療経験―硬化療法を中心として―．日形会誌 16：852-862；1996.

(例) Nahai F, Stahl RS, et al. Advanced applications of revascularized free jejunal flaps for difficult wounds of the head and neck. Plast Reconstr Surg 76：778-782；1984.

【単行本】著者名．項目名．書名(―版)．ページ(始頁-終頁)，発行所，発行地(都市名)，発行年(西暦)．

(例) 鬼塚卓彌．唇裂・口蓋裂形成術．形成外科手術書 実際編(第4版)．327-446，南江堂，東京，1996.

(例) Brent B. Repair and grafting of cartilage andperichondrium. Plastic Surgery(1st ed). edited by McCarthy GG：559-582, WB Saunders Co, Philadelphia, 1990.

⑥ **図表説明文**：図表に表題をつけ，簡潔な文章にて本文と重複しないようにする。

⑦ **図表(写真も含む)**：明瞭な図・写真を用いる。また，写真の性質上，カラーでの掲載希望の際は「カラー希望」と明記する(ただし編集委員会の判断に委ねる)。

シェーマは，原則研究会側で書き直しはしない。わかりやすく作成すること。

なお，図表ともに，引用・転載の場合は必ず許諾を得て，出典を明示すること。

論文文字数

1．研究会発表プロシーディング：図表，文献を含め3,000文字以内

2．原著論文：図表，文献を含め8,000文字以内

3．総説：図表，文献を含め12,000文字以内

4．短報・レター：図表，文献含め1,500文字以内

＜図表の文字換算目安＞

表，写真またはシェーマは各々1枚につき200文字と換算する。

例1) 表1つ，シェーマ1つ，2枚組写真2つ，4枚組写真1つの場合，200＋200＋(200×2)＋(200×4)で1,600文字と換算されるため，文章は残りの文字数

例2) 2枚組写真2つ，4枚組写真2つ，6枚組写真1つの場合，(200×2)＋(200×4)＋(200×6)で2,400文字と換算されるため，文章は残りの文字数

プライバシー保護および倫理的配慮

そのプライバシー保護に配慮し，患者が特定されないように留意する。

1) 患者個人の特定可能な氏名，入院番号，イニシャルまたは「呼び名」は記載しない。

2) 患者の住所は記載しない。ただし，疾患の発生場所が病態等に関与する場合は区域までに限定して記載することを可とする。(東京都，新宿区など)

Presented by Medical*Online

3）日付は，臨床経過を知る上で必要となることが多いので，個人が特定できないと判断される場合は年月までを記載してよい。

4）他の情報と診療科名を照合することにより患者が特定される場合は，診療科名は記載しない。

5）既に他院などで診断・治療を受けている場合，その施設名ならびに所属地を記載しない。ただし，救急医療などで搬送元の記載が不可欠な場合はこの限りではない。

6）顔写真を提示する際には目を隠す。眼疾患の場合は，顔全体がわからないよう眼球のみの拡大写真とする。

7）症例を特定できる生検，部検，画像情報に含まれる番号などは削除する。

8）以上の配慮をしても個人が特定される可能性のある場合は，発表に関する同意を患者自身（または遺族か代理人，小児では保護者）から得るか，倫理委員会の承認を得る。

9）論文は「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」（文部科学省，厚生労働省及び経済産業省）（平成 13 年 3 月 29 日）による規定やヘルシンキ宣言に準拠し，患者または被検者の人権を損なうことのないように十分配慮されたものでなければならない。

動物実験においても，厚生労働省の医学研究に関する指針に準拠し，動物愛護の面を十分配慮した研究でなければならない。

掲載料と別刷

研究会発表プロシーディング，短報・レターは，掲載料無料。

原著論文，総説は，掲載料は刷り上り 1 頁あたり著者負担 5,000 円とする。カラー印刷代は研究会負担とする。

原著論文，総説に限り別刷は 30 部を無料配布とし，30 部を超える部分について実費を申し受ける。

校　正

著者校正は 1 回のみとし，誤植，組版の誤りを直すに止め，内容の書きかえは許されない。

著作権

瘢痕・ケロイド治療ジャーナル誌に掲載された論文の著作権は，瘢痕・ケロイド治療研究会に帰属する。

投稿についての問い合わせ先

株式会社 全日本病院出版会　〒 113-0033　東京都文京区本郷 3-16-4
TEL：03-5689-5989/FAX：03-5689-8030/E-mail：jsw-edit@zenniti.com
編集部　担当：鈴木由子（よりこ）・岩瀬達哉

Presented by Medical*Online